

タイトル	国土交通大臣に要望活動「新空港線（蒲蒲線）早期整備着手に関する要望書を提出」
------	--

いつ 実施日時・工期	平成28年2月8日（月）16時20分～16時30分
どこで 会場・開催地等	国土交通省(千代田区霞が関2-1-3) 中央合同庁舎3号館4階 国土交通大臣室
だれが 主催者・関係者	大田区長、豊島区長、新宿区長（代理）、和光市長
なにを 事業内容など	新空港線（蒲蒲線）の早期実現に向けた要望書
なぜ 目的・理由	新空港線（蒲蒲線）は、JR蒲田と京急蒲田をつなぐ新たな鉄道の計画路線で今年度末には国土交通省交通政策審議会から、今後の東京圏の鉄道計画整備の方向性を示す新たな答申が15年ぶりに出される予定である。この新空港線の整備により、東急東横線・東京メトロ副都心線・西武池袋線・東武東上線などとの相互直通運転が可能となり、渋谷・新宿・池袋および埼玉県を含めた首都圏西部地域と羽田空港とのアクセスが格段に向上する新たな広域交通網が形成される。加えて新空港線は、今後発生が予想されている首都直下地震の際の極めて重要な代替路線となり得ることから、東京圏全体の都市機能が強化される重要な路線である。
どうした 経緯・経過	大田区長を初めとする、関係自治体首長と共に、和光市長が石井国土交通大臣に早期実現を求める要望書を提出した。
関係自治体	全17自治体（今回は、上記自治体のみ出席）
その他	大臣に対する市長発言においては、埼玉県内自治体の立場から、川越の観光をはじめとした県西部全体のメリットも話したほか、当市においては、何より世界の理研、世界のHONDAを強調して話をした。
問い合わせ先 担当課	課名 政策課 氏名 課長 川辺 聡 電話 048-464-1111（内線 2323）